

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2011年9月調査）

2011年10月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2011年7～9月の実績と2011年10～12月の見通しを9月初旬時点でうかがったものであり、1,020社からご協力をいただき、回答率は40.8%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

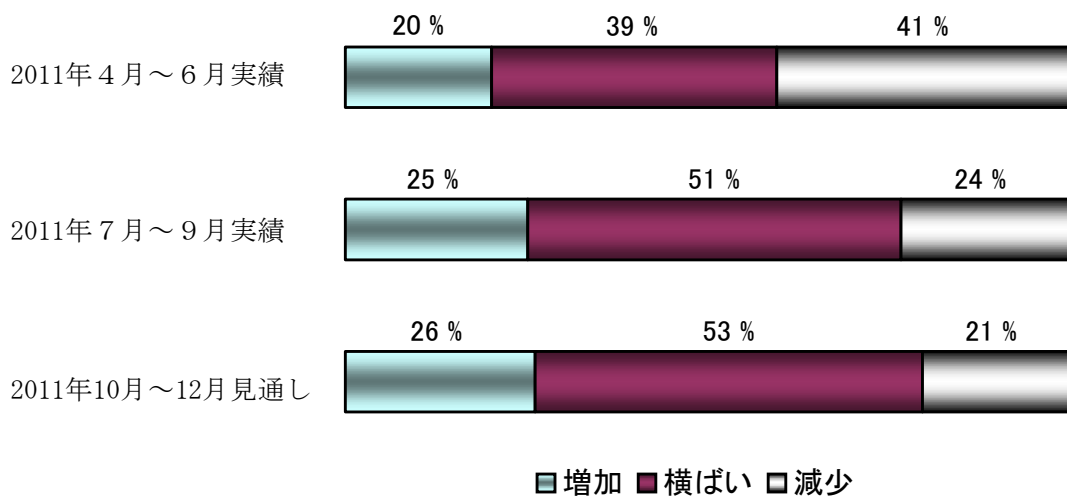
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	86	37.1
	繊 維 ・ 衣 服	111	49	44.1
	木 材 ・ 家 具	96	38	39.6
	パ ル プ ・ 紙	107	45	42.1
	化学・プラスチック	238	113	47.5
	窯 業 ・ 土 石	102	40	39.2
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	196	107	54.6
	金 属 製 品	128	51	39.8
	一 般 機 械	222	94	42.3
	電 気 機 械	333	125	37.5
	輸 送 用 機 械	250	88	35.2
	精 密 機 械	67	18	26.9
	そ の 他	167	57	34.1
計		2,249	911	40.5
卸 売 業	生 産 財	124	58	46.8
	消 費 財	127	51	40.2
	計	251	109	43.4
合 計		2,500	1,020	40.8

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

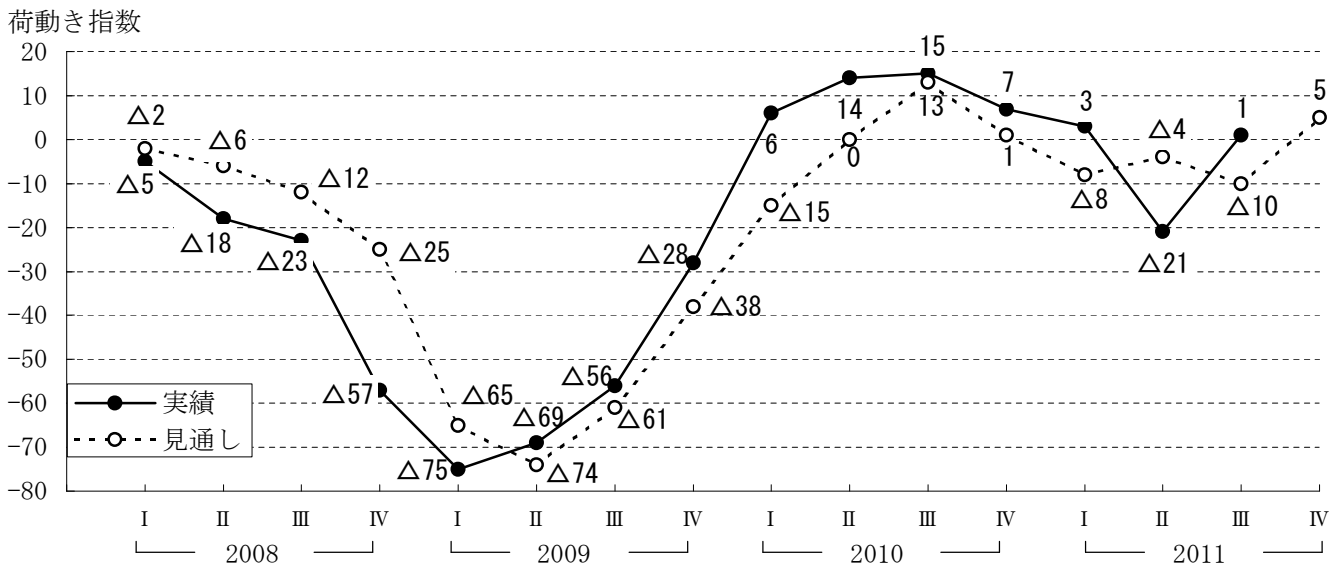
- 7～9月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（4～6月）実績より5ポイント上昇し25%となった。また、「減少」との回答は前期より17ポイント低下し24%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は22ポイント上昇してプラス1となった。
- 10～12月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（7～9月）実績（見込み）より1ポイント上昇し26%となる一方、「減少」との回答は3ポイント低下して21%になる。この結果『荷動き指数』は4ポイント上昇してプラス5と見込まれる。

国内向け出荷量の実績と見通し



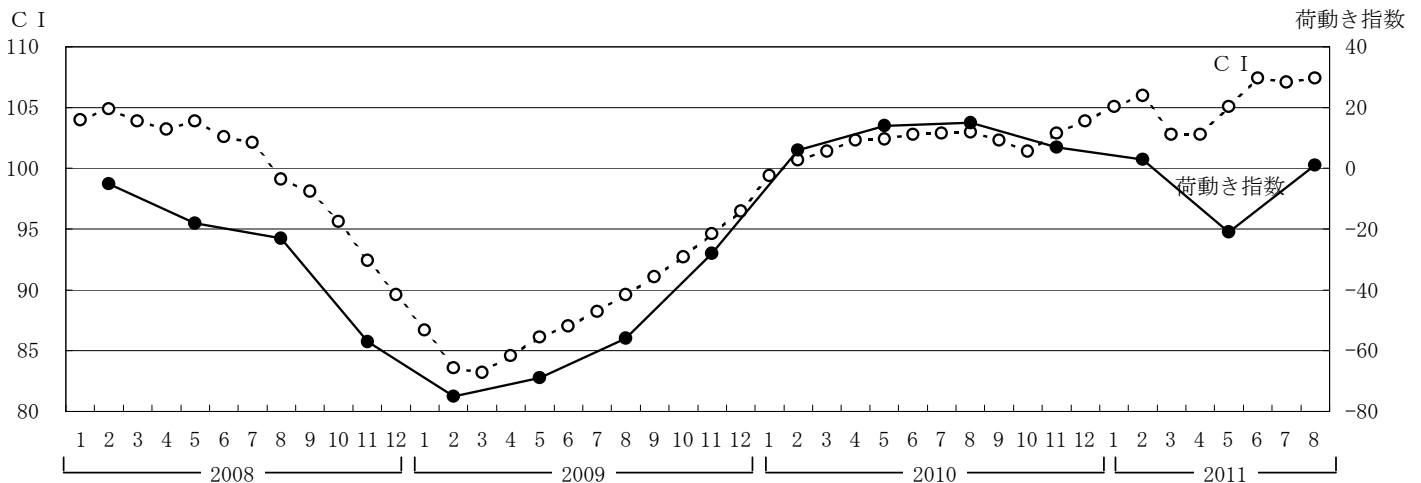
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、2010年10～12月実績で増勢にブレーキがかかり、2011年4～6月実績では、東日本大震災の影響を受けて、『荷動き指数』が△21と6期ぶりにマイナスに転じた。しかし、7～9月実績（見込み）では、V字型の回復により再びプラス水準へと浮上し、さらに10～12月見通しでも4ポイントの上昇が見込まれており、荷動きはほぼ前年度水準まで戻りつつある。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』(2011年IV期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し)、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』(2011年III期の『荷動き指数』は今回調査における判断)。

(参考) 景気動向指数 (C I一致指数) と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 景気動向指数研究会によると、第14循環における景気の山は2008年2月、景気の谷は2009年3月となっている。

■ 7～9月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、木材・家具、輸送用機械、生産財卸など8業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、化学・プラスチック、食料品・飲料など6業種がマイナスとなった。大半の業種において、前期（4～6月）実績よりも改善がみられ、なかでも輸送用機械は63ポイントの大幅な上昇を示している。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、食料品・飲料、パルプ・紙、その他の製造業がプラスに反転することなどにより、全15業種10業種がプラスを示す。一方、一般機械および精密機械がマイナスに落ち込むなど、6業種において『荷動き指数』の悪化が見込まれており、業種により明暗が分かれる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	85	19	53	28	△ 9	84	19	63	18	1
	繊維・衣服	48	31	42	27	4	49	27	55	18	9
	木材・家具	38	39	43	18	21	38	29	53	18	11
	パルプ・紙	45	20	51	29	△ 9	45	22	60	18	4
	化学・プラスチック	112	13	64	23	△ 10	112	14	65	21	△ 7
	窯業・土石	39	23	56	21	2	39	26	59	15	11
	鉄鋼・非鉄	106	25	51	24	1	105	34	49	17	17
	金属製品	49	29	47	24	5	48	33	44	23	10
	一般機械	92	28	51	21	7	92	22	48	30	△ 8
	電気機械	122	28	38	34	△ 6	121	23	46	31	△ 8
	輸送用機械	86	36	44	20	16	86	60	30	10	50
	精密機械	18	17	66	17	0	18	16	56	28	△ 12
	その他	55	24	47	29	△ 5	55	31	51	18	13
計	895	25	50	25	0	892	28	51	21	7	
卸売業	生産財	54	26	63	11	15	54	17	69	14	3
	消費財	49	16	62	22	△ 6	48	8	73	19	△ 11
	計	103	21	62	17	4	102	12	71	17	△ 5
合計	998	25	51	24	1	994	26	53	21	5	

■ 7～9月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、北海道、北陸・信越、東海、中国の4地域でプラス、近畿および九州・沖縄でゼロ水準、東北、関東、四国でマイナスとなった。全地域とも、前期（4～6月）実績からは大幅な改善がみられた。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、関東および四国でプラスに浮上し、北陸・信越、東海、四国の3地域でも2ケタのプラスを示す。一方、北海道および近畿でマイナスに沈むなど、地域により若干のバラツキがみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

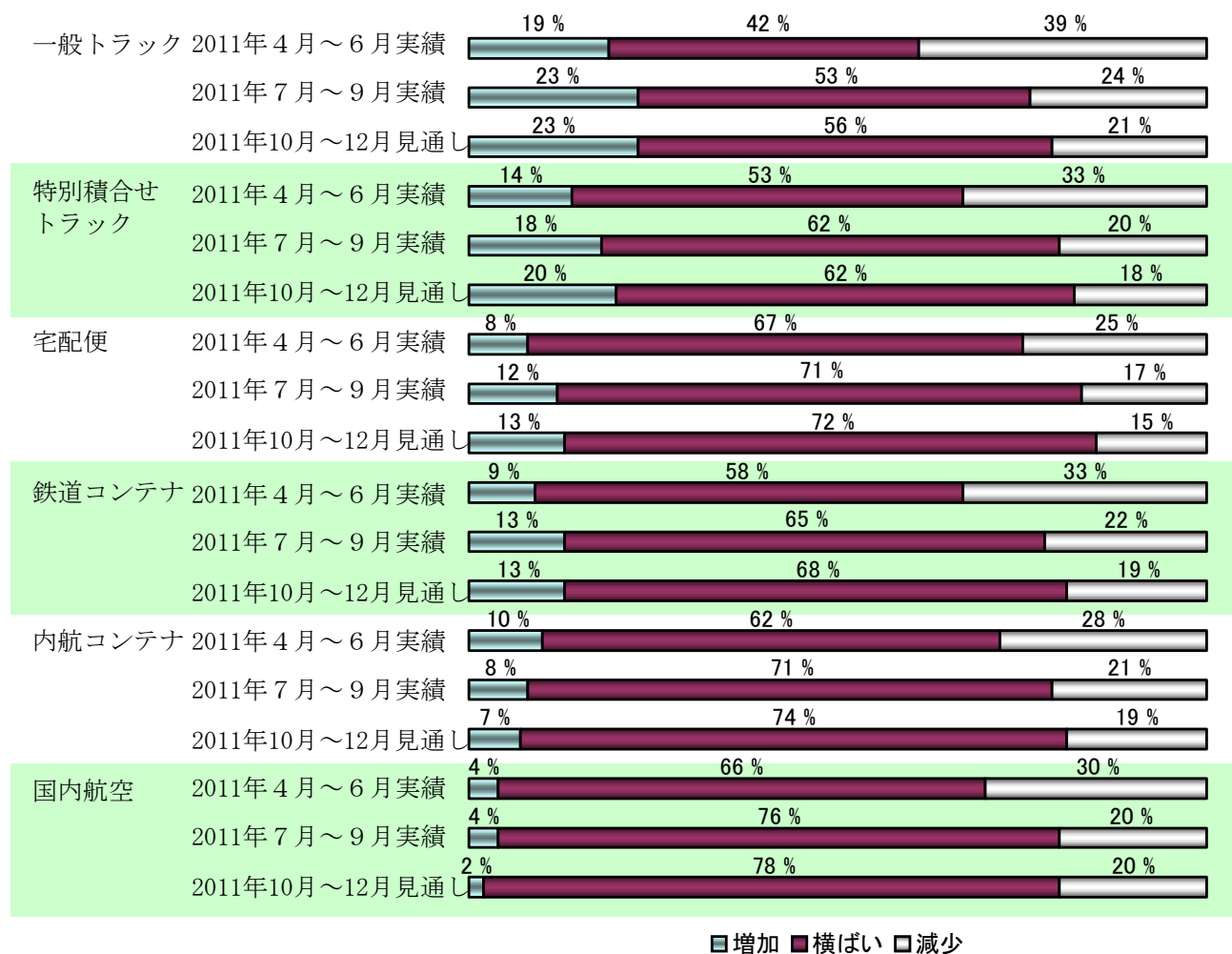
地 域	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	50	28	46	26	2	50	24	50	26	△ 2
東 北	84	21	55	24	△ 3	85	22	54	24	△ 2
関 東	236	26	44	30	△ 4	235	26	52	22	4
北 陸 ・ 信 越	114	24	60	16	8	113	29	56	15	14
東 海	134	27	50	23	4	134	34	47	19	15
近 畿	148	24	52	24	0	147	22	52	26	△ 4
中 国	96	24	56	20	4	95	22	65	13	9
四 国	59	22	53	25	△ 3	58	26	62	12	14
九 州 ・ 沖 縄	77	25	50	25	0	77	26	48	26	0
合 計	998	25	51	24	1	994	26	53	21	5

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 7～9月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』をみると、すべての輸送機関でマイナスを示したものの、前期（4～6月）実績よりは改善し、一般トラックおよび特別積合せトラックでは小幅なマイナスにとどまった。

■ 10～12月の見通しでは、国内航空を除いて小幅ながら『利用動向指数』が上昇し、一般トラックおよび特別積合せトラックではプラスに浮上する見込みである。一方、内航コンテナおよび国内航空では引き続き2ケタのマイナスを示し、利用の回復は当面期待できない。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械、生産財卸など6業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、化学・プラスチック、食料品・飲料など8業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△1で、前期（4～6月）実績からは19ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械および精密機械がマイナスに沈む一方、繊維・衣服、窯業・土石、その他の製造業がプラスに反転する。業種全体の『利用動向指数』は3ポイント上昇してプラス2と水面上に浮上し、利用は回復に向かう見通しである。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	83	17	55	28	△11	81	17	63	20	△3
	繊維・衣服	42	23	48	29	△6	42	21	62	17	4
	木材・家具	36	36	36	28	8	35	31	49	20	11
	パルプ・紙	45	18	53	29	△11	44	18	64	18	0
	化学・プラスチック	112	11	65	24	△13	110	11	67	22	△11
	窯業・土石	38	21	55	24	△3	37	22	62	16	6
	鉄鋼・非鉄	103	24	56	20	4	101	33	50	17	16
	金属製品	50	28	48	24	4	49	29	51	20	9
	一般機械	89	25	53	22	3	89	18	54	28	△10
	電気機械	111	26	42	32	△6	111	20	50	30	△10
	輸送用機械	85	35	46	19	16	83	55	33	12	43
	精密機械	14	21	58	21	0	13	15	62	23	△8
	その他	55	21	55	24	△3	55	27	53	20	7
計	863	23	52	25	△2	850	25	54	21	4	
卸売業	生産財	52	23	65	12	11	51	16	68	16	0
	消費財	46	15	63	22	△7	44	7	73	20	△13
	計	98	19	65	16	3	95	11	71	18	△7
合計	961	23	53	24	△1	945	23	56	21	2	

(2) 特別積合せトラック

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、輸送用機械、その他の製造業など8業種がプラス、窯業・土石および消費財卸がゼロ水準で、電気機械、鉄鋼・非鉄など5業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△2で、前期（4～6月）実績との比較では17ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械および消費財卸がマイナスに沈む一方、パルプ・紙および鉄鋼・非鉄がゼロ水準まで戻すほか、輸送用機械に大幅な上昇が見込まれる。業種全体の『利用動向指数』はプラス2と4ポイント上昇する見通しで、利用の回復が期待できる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	49	18	70	12	6	47	21	66	13	8
	繊維・衣服	38	32	47	21	11	38	29	53	18	11
	木材・家具	21	19	67	14	5	21	14	76	10	4
	パルプ・紙	27	14	67	19	△5	27	15	70	15	0
	化学・プラスチック	90	10	71	19	△9	89	14	69	17	△3
	窯業・土石	26	12	76	12	0	25	16	68	16	0
	鉄鋼・非鉄	61	13	59	28	△15	60	22	56	22	0
	金属製品	37	27	49	24	3	37	27	51	22	5
	一般機械	76	20	62	18	2	76	22	53	25	△3
	電気機械	90	13	55	32	△19	90	13	58	29	△16
	輸送用機械	56	30	56	14	16	55	40	51	9	31
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	その他	40	30	53	17	13	40	30	53	17	13
計	618	18	61	21	△3	612	21	60	19	2	
卸売業	生産財	40	18	68	14	4	40	15	73	12	3
	消費財	32	16	68	16	0	32	6	85	9	△3
	計	72	17	68	15	2	72	11	78	11	0
合計	690	18	62	20	△2	684	20	62	18	2	

(3) 宅配便

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、生産財卸、食料品・飲料など5業種がプラス、繊維・衣服、一般機械、消費財卸がゼロ水準で、窯業・土石、その他の製造業など7業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△5で、前期（4～6月）実績からは12ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械がプラスに反転し、金属製品もゼロ水準まで浮上する一方、繊維・衣服、木材・家具、一般機械がマイナスに落ち込む。業種全体の『利用動向指数』は3ポイント上昇して△2と見込まれ、依然として水面下の推移が続くものの、利用回復に向けた動きが窺える。

宅配便利用の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	61	15	77	8	7	59	12	78	10	2
	繊維・衣服	36	17	66	17	0	37	10	76	14	△4
	木材・家具	30	23	57	20	3	30	13	70	17	△4
	パルプ・紙	24	13	79	8	5	24	13	79	8	5
	化学・プラスチック	86	3	84	13	△10	85	2	85	13	△11
	窯業・土石	25	0	80	20	△20	25	0	80	20	△20
	鉄鋼・非鉄	63	5	84	11	△6	62	5	87	8	△3
	金属製品	46	11	65	24	△13	45	16	68	16	0
	一般機械	85	18	64	18	0	85	18	61	21	△3
	電気機械	111	14	59	27	△13	111	14	63	23	△9
	輸送用機械	71	14	75	11	3	69	16	75	9	7
	精密機械	18	17	61	22	△5	17	29	47	24	5
	その他	43	14	56	30	△16	43	14	65	21	△7
計	699	12	70	18	△6	692	12	72	16	△4	
卸売業	生産財	47	19	72	9	10	47	21	73	6	15
	消費財	38	11	78	11	0	37	14	72	14	0
	計	85	15	76	9	6	84	18	73	9	9
合計	784	12	71	17	△5	776	13	72	15	△2	

(4) 鉄道コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、繊維・衣服、窯業・土石など10業種がマイナス、パルプ・紙および精密機械がゼロ水準で、プラスの業種は鉄鋼・非鉄、一般機械、輸送用機械の3業種にとどまった。業種全体の『利用動向指数』は△9で、前期（4～6月）実績からは15ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料およびパルプ・紙がプラスに浮上する一方、鉄鋼・非鉄および一般機械がゼロ水準まで下降する見通しである。業種全体の『利用動向指数』は3ポイント上昇して△6と見込まれ、この結果、利用の減退は続くものの、下押し圧力はいくぶん弱まるものとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	38	23	45	32	△9	39	23	59	18	5
	繊維・衣服	13	0	62	38	△38	13	7	62	31	△24
	木材・家具	16	12	50	38	△26	16	13	56	31	△18
	パルプ・紙	29	17	66	17	0	29	21	69	10	11
	化学・プラスチック	77	8	69	23	△15	76	8	70	22	△14
	窯業・土石	11	0	73	27	△27	11	9	73	18	△9
	鉄鋼・非鉄	39	21	62	17	4	38	18	64	18	0
	金属製品	17	12	59	29	△17	17	6	76	18	△12
	一般機械	35	9	86	5	4	35	6	88	6	0
	電気機械	37	19	59	22	△3	37	19	57	24	△5
	輸送用機械	26	15	73	12	3	26	15	73	12	3
	精密機械	5	20	60	20	0	5	20	60	20	0
	その他	23	9	65	26	△17	23	4	70	26	△22
計	366	13	65	22	△9	365	13	68	19	△6	
卸売業	生産財	11	9	64	27	△18	12	8	67	25	△17
	消費財	13	0	85	15	△15	13	0	85	15	△15
	計	24	4	75	21	△17	25	4	76	20	△16
合計	390	13	65	22	△9	390	13	68	19	△6	

(5) 内航コンテナ

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械、パルプ・紙、鉄鋼・非鉄など12業種がマイナス、窯業・土石および電気機械がゼロ水準で、輸送用機械が唯一プラスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△13で、前期（4～6月）実績からは5ポイント上昇した。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、窯業・土石がプラスに浮上する一方、電気機械および輸送用機械がマイナスに落ち込む。業種全体の『利用動向指数』は△12と強含み横ばいでの推移が見込まれ、利用は減退が続くものとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	22	13	64	23	△10	22	9	77	14	△5
	繊維・衣服	7	0	71	29	△29	7	0	71	29	△29
	木材・家具	10	20	50	30	△10	10	20	50	30	△10
	パルプ・紙	16	0	69	31	△31	16	0	88	12	△12
	化学・プラスチック	46	4	76	20	△16	46	4	76	20	△16
	窯業・土石	9	11	78	11	0	9	22	78	0	22
	鉄鋼・非鉄	20	0	70	30	△30	20	0	80	20	△20
	金属製品	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
	一般機械	34	9	76	15	△6	34	6	79	15	△9
	電気機械	28	14	72	14	0	28	14	68	18	△4
	輸送用機械	19	16	74	10	6	18	11	72	17	△6
	精密機械	3	0	67	33	△33	3	0	67	33	△33
その他	17	6	59	35	△29	17	0	71	29	△29	
計	242	8	71	21	△13	241	6	76	18	△12	
卸売業	生産財	8	12	50	38	△26	8	12	38	50	△38
	消費財	7	14	57	29	△15	7	14	57	29	△15
	計	15	13	54	33	△20	15	13	47	40	△27
合計	257	8	71	21	△13	256	7	74	19	△12	

(6) 国内航空

■ 7～9月実績（見込み）の『利用動向指数』は、すべての業種がマイナスで、食料品・飲料、一般機械、輸送用機械以外は2ケタのマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△16で、前期（4～6月）実績からは10ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『利用動向指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準まで浮上する一方、食料品・飲料、電気機械などでマイナス幅が拡大する。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△18と2ポイント低下する見込みであり、国内航空は全輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退圧力が大きい。

国内航空利用の実績と見通し

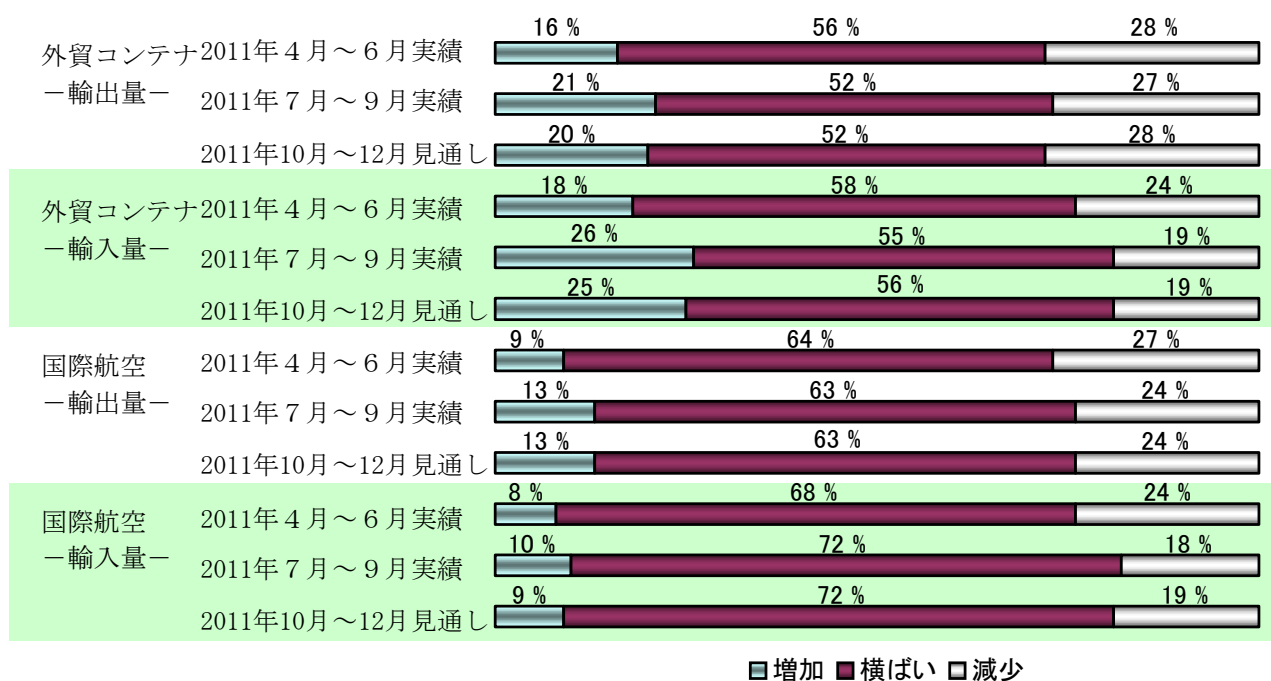
業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	20	5	85	10	△5	20	5	75	20	△15
	繊維・衣服	11	9	55	36	△27	11	9	55	36	△27
	木材・家具	6	0	67	33	△33	6	0	83	17	△17
	パルプ・紙	6	0	83	17	△17	6	0	83	17	△17
	化学・プラスチック	30	3	80	17	△14	30	0	80	20	△20
	窯業・土石	9	0	78	22	△22	8	0	75	25	△25
	鉄鋼・非鉄	20	0	75	25	△25	20	0	80	20	△20
	金属製品	13	0	77	23	△23	13	0	85	15	△15
	一般機械	47	6	79	15	△9	47	4	79	17	△13
	電気機械	52	4	79	17	△13	52	0	81	19	△19
	輸送用機械	24	0	92	8	△8	24	4	92	4	0
	精密機械	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	その他	17	6	59	35	△29	17	6	59	35	△29
計	263	3	78	19	△16	262	2	79	19	△17	
卸 売 業	生産財	11	9	64	27	△18	11	0	73	27	△27
	消費財	10	10	40	50	△40	10	10	50	40	△30
	計	21	10	52	38	△28	21	5	62	33	△28
合計	284	4	76	20	△16	283	2	78	20	△18	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、外貿コンテナの輸出・輸入、国際航空の輸出・輸入とも前期（4～6月）実績より上昇し、外貿コンテナの輸入ではプラスに反転した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しについては、国際航空の輸出において横ばいで推移する一方、それ以外の輸送機関では小幅の低下が見込まれる。『荷動き指数』がプラスとなるのは外貿コンテナの輸入のみであり、総じてみると荷動き回復の足取りは重い。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械、精密機械など4業種がプラス、食料品・飲料、窯業・土石、その他の製造業がゼロ水準で、生産財卸、消費財卸など8業種がマイナスを示した。業種全体の『荷動き指数』は△6で、前期（4～6月）実績からは6ポイント改善した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに反転し、木材・家具もゼロ水準に戻す一方、食料品・飲料、窯業・土石、その他の製造業がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△8と2ポイント低下する見通しで、荷動き回復に向けた足取りは重い。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	9	22	56	22	0	9	11	67	22	△11
	繊維・衣服	15	20	53	27	△7	15	27	53	20	7
	木材・家具	8	12	63	25	△13	8	25	50	25	0
	パルプ・紙	15	20	40	40	△20	15	13	47	40	△27
	化学・プラスチック	56	14	54	32	△18	55	15	49	36	△21
	窯業・土石	19	16	68	16	0	19	5	74	21	△16
	鉄鋼・非鉄	42	14	55	31	△17	42	7	64	29	△22
	金属製品	15	20	67	13	7	15	27	60	13	14
	一般機械	56	34	52	14	20	56	30	47	23	7
	電気機械	50	20	48	32	△12	50	24	46	30	△6
	輸送用機械	39	28	46	26	2	39	33	44	23	10
	精密機械	11	27	64	9	18	11	36	55	9	27
その他	25	32	36	32	0	25	20	48	32	△12	
計	360	22	52	26	△4	359	21	52	27	△6	
卸売業	生産財	11	0	64	36	△36	11	0	64	36	△36
	消費財	9	22	33	45	△23	9	22	33	45	△23
	計	20	10	50	40	△30	20	10	50	40	△30
合計	380	21	52	27	△6	379	20	52	28	△8	

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、精密機械、その他の製造業、輸送用機械など9業種がプラス、木材・家具、金属製品、消費財卸がゼロ水準で、食料品・飲料、鉄鋼・非鉄、生産財卸がマイナスだった。業種全体の『荷動き指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績より13ポイント上昇した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具、化学・プラスチックなど4業種がマイナスに落ち込む一方、電気機械、輸送用機械などでプラス幅が拡大する。この結果、業種全体の『荷動き指数』はプラス6と弱含み横ばいで推移し、荷動きの拡大が続くものの増勢は若干鈍化する見通しである。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業 種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	12	17	58	25	△ 8	12	8	59	33	△ 25
繊維・衣服	16	31	50	19	12	16	31	44	25	6
木材・家具	11	18	64	18	0	11	18	55	27	△ 9
パルプ・紙	11	27	55	18	9	11	27	55	18	9
化学・プラスチック	53	23	66	11	12	52	10	75	15	△ 5
窯業・土石	18	17	78	5	12	18	28	50	22	6
鉄鋼・非鉄	29	17	49	34	△ 17	29	17	55	28	△ 11
金属製品	18	17	66	17	0	18	17	61	22	△ 5
一般機械	54	31	52	17	14	54	30	52	18	12
電気機械	51	29	49	22	7	51	29	53	18	11
輸送用機械	39	33	52	15	18	39	38	49	13	25
精密機械	10	40	40	20	20	10	40	50	10	30
その他	26	38	43	19	19	26	35	50	15	20
計	348	27	55	18	9	347	25	56	19	6
卸売業										
生産財	15	20	47	33	△ 13	15	20	47	33	△ 13
消費財	15	20	60	20	0	15	13	67	20	△ 7
計	30	20	53	27	△ 7	30	16	57	27	△ 11
合計	378	26	55	19	7	377	25	56	19	6

(3) 国際航空 —輸出—

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械、輸送用機械、精密機械がプラス、食料品・飲料および木材・家具がゼロ水準で、残り10業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△11で、前期（4～6月）実績より7ポイント改善した。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、総じて大きな動きはみられない。金属製品がゼロ水準に戻す一方、一般機械や輸送用機械のプラス幅が縮小し、この結果、業種全体の『荷動き指数』は横ばいでの推移が見込まれ、荷動きは減退が続く見通しである。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
	繊維・衣服	12	8	59	33	△25	12	8	67	25	△17
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	4	0	75	25	△25	4	0	75	25	△25
	化学・プラスチック	37	3	81	16	△13	37	3	78	19	△16
	窯業・土石	9	12	44	44	△32	9	11	56	33	△22
	鉄鋼・非鉄	24	4	67	29	△25	24	8	67	25	△17
	金属製品	12	8	75	17	△9	12	8	84	8	0
	一般機械	60	22	62	16	6	60	23	55	22	1
	電気機械	67	15	52	33	△18	67	15	51	34	△19
	輸送用機械	28	25	64	11	14	28	21	65	14	7
	精密機械	11	18	73	9	9	11	18	73	9	9
	その他	17	11	65	24	△13	17	5	71	24	△19
計	291	13	65	22	△9	291	13	64	23	△10	
卸 売 業	生産財	12	8	50	42	△34	12	16	42	42	△26
	消費財	8	0	37	63	△63	8	0	37	63	△63
	計	20	5	45	50	△45	20	10	40	50	△40
合計	311	13	63	24	△11	311	13	63	24	△11	

(4) 国際航空 — 輸入 —

■ 7～9月実績（見込み）の『荷動き指数』は、木材・家具、パルプ・紙、輸送用機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスで、プラスの業種は皆無である。業種全体の『荷動き指数』は△8で、前期(4～6月)実績との比較では8ポイントの改善がみられた。

■ 10～12月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がゼロ水準に浮上して、4業種がゼロ水準となるものの、引き続きプラスの業種は皆無で、残り11業種がマイナスとなる。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△10と2ポイントの低下が見込まれ、この結果、輸出同様、荷動きは減退が続く見通しである。

国際航空による輸入量の実績と見通し

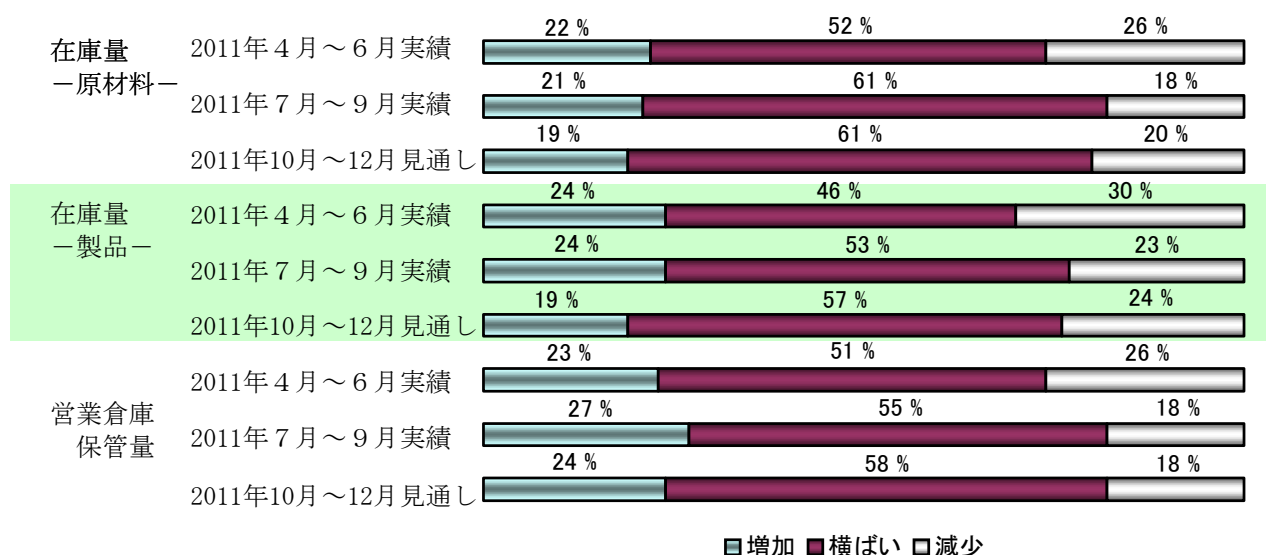
業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
	繊維・衣服	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	木材・家具	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	パルプ・紙	3	0	100	0	0	3	0	100	0	0
	化学・プラスチック	28	0	86	14	△14	28	0	86	14	△14
	窯業・土石	10	0	70	30	△30	10	0	70	30	△30
	鉄鋼・非鉄	18	5	78	17	△12	18	6	72	22	△16
	金属製品	8	12	75	13	△1	8	13	74	13	0
	一般機械	50	10	74	16	△6	51	13	71	16	△3
	電気機械	58	17	62	21	△4	58	10	68	22	△12
	輸送用機械	25	16	68	16	0	25	16	68	16	0
	精密機械	9	11	67	22	△11	9	11	56	33	△22
	その他	19	16	58	26	△10	19	16	63	21	△5
計	247	10	72	18	△8	248	9	72	19	△10	
卸 売 業	生産財	12	17	58	25	△8	12	8	59	33	△25
	消費財	8	0	75	25	△25	8	0	75	25	△25
	計	20	10	65	25	△15	20	5	65	30	△25
合計	267	10	72	18	△8	268	9	72	19	△10	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 7～9月実績(見込み)の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、原材料在庫、製品在庫、営業倉庫保管量とも、前期(4～6月)実績より上昇し、すべての『動向指数』がプラスに反転した。

■ 10～12月の見通しについては、いずれの『動向指数』も悪化の方向に向かい、営業倉庫保管量ではプラスを維持するものの、原材料在庫および製品在庫では再びマイナスに転じる。このため、在庫圧縮および営業倉庫保管量の削減圧力が若干強まる見通しである。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、精密機械、金属製品など8業種がプラスで、生産財卸、その他の製造業など7業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』はプラス3で、前期（4～6月）実績からは7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに反転し、その他の製造業および消費財卸もゼロ水準まで戻す一方、繊維・衣服がマイナスに落ち込み、精密機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は4ポイント悪化して、△1と小幅ながら再びマイナスに転じる見込みである。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業 種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	72	11	70	19	△ 8	70	10	73	17	△ 7
	繊維・衣服	41	32	41	27	5	41	22	49	29	△ 7
	木材・家具	34	26	56	18	8	34	26	50	24	2
	パルプ・紙	41	12	68	20	△ 8	41	17	73	10	7
	化学・プラスチック	100	13	69	18	△ 5	100	12	66	22	△ 10
	窯業・土石	35	26	54	20	6	35	26	51	23	3
	鉄鋼・非鉄	95	24	64	12	12	94	17	68	15	2
	金属製品	48	31	52	17	14	47	21	62	17	4
	一般機械	83	25	58	17	8	83	27	55	18	9
	電気機械	103	17	60	23	△ 6	103	14	57	29	△ 15
	輸送用機械	80	29	55	16	13	80	36	44	20	16
精密機械	16	31	56	13	18	16	19	62	19	0	
その他	53	13	64	23	△ 10	53	17	66	17	0	
計	801	21	61	18	3	797	20	60	20	0	
卸 売 業	生産財	27	14	56	30	△ 16	27	18	56	26	△ 8
	消費財	25	12	72	16	△ 4	25	16	68	16	0
	計	52	13	64	23	△ 10	52	17	62	21	△ 4
合計	853	21	61	18	3	849	19	61	20	△ 1	

(2) 在庫量 —製品—

■ 7～9月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、繊維・衣服、鉄鋼・非鉄など7業種がプラス、消費財卸、木材・家具など8業種がマイナスを示した。業種全体の『在庫動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績より7ポイント上昇した。

■ 10～12月の『在庫動向指数』見通しでは、繊維・衣服や精密機械など5業種がマイナスに沈み、パルプ・紙および輸送用機械がプラス、その他の製造業がゼロ水準にとどまる以外、残り12業種がマイナスとなる。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と6ポイント悪化する見込みで、製品在庫の圧縮が若干進むとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	76	17	59	24	△7	73	16	63	21	△5
	繊維・衣服	45	42	31	27	15	45	24	43	33	△9
	木材・家具	30	23	44	33	△10	30	13	57	30	△17
	パルプ・紙	44	20	62	18	2	44	25	61	14	11
	化学・プラスチック	104	22	57	21	1	104	15	63	22	△7
	窯業・土石	37	22	54	24	△2	37	24	49	27	△3
	鉄鋼・非鉄	94	27	61	12	15	93	14	68	18	△4
	金属製品	47	30	47	23	7	46	24	50	26	△2
	一般機械	81	22	52	26	△4	83	24	51	25	△1
	電気機械	108	26	45	29	△3	107	18	50	32	△14
	輸送用機械	80	25	56	19	6	80	30	46	24	6
	精密機械	16	31	50	19	12	16	12	63	25	△13
	その他	54	19	59	22	△3	54	15	70	15	0
計	816	24	53	23	1	812	19	57	24	△5	
卸売業	生産財	47	23	49	28	△5	47	17	57	26	△9
	消費財	42	12	57	31	△19	42	14	53	33	△19
	計	89	18	53	29	△11	89	16	55	29	△13
合計	905	24	53	23	1	901	19	57	24	△5	

(3) 営業倉庫保管量

■ 7～9月実績（見込み）の『保管動向指数』は、その他の製造業、生産財卸、消費財卸がマイナス、木材・家具がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『保管動向指数』はプラス9で、前期（4～6月）実績からは12ポイントの上昇がみられた。

■ 10～12月の『保管動向指数』見通しでは、その他の製造業がプラスに反転する一方、繊維・衣服など4業種がマイナスに落ち込む。この結果、業種全体の『保管動向指数』はプラス6と3ポイント低下する見込みで、営業倉庫保管量は引き続き拡大方向に向かうものの、基調は若干弱まる見通しである。

営業倉庫保管量の実績と見通し

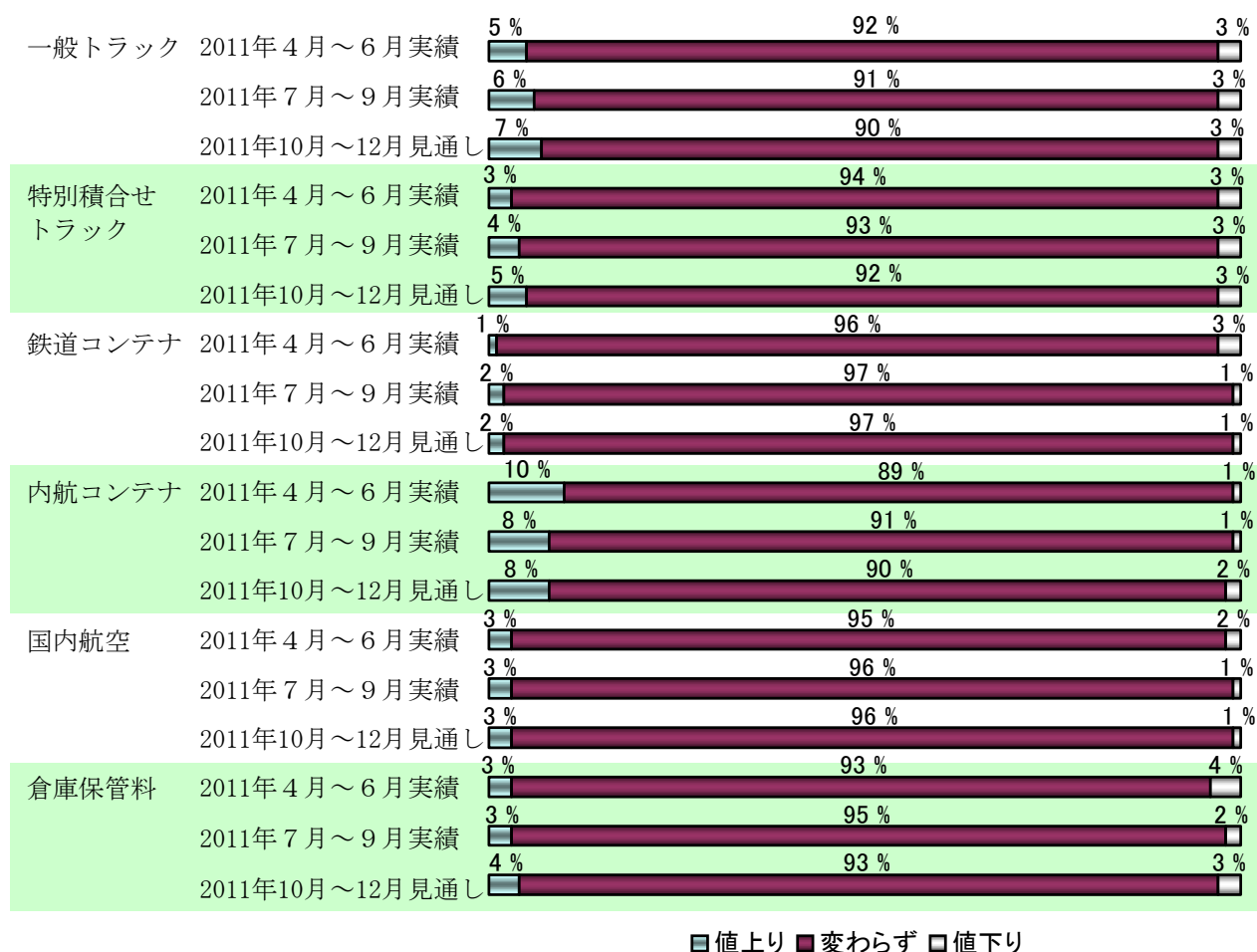
業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	59	20	61	19	1	58	17	64	19	△ 2
	繊維・衣服	26	35	35	30	5	26	24	38	38	△ 14
	木材・家具	23	17	66	17	0	23	13	65	22	△ 9
	パルプ・紙	36	25	58	17	8	36	31	56	13	18
	化学・プラスチック	91	31	54	15	16	91	23	61	16	7
	窯業・土石	22	23	68	9	14	22	23	68	9	14
	鉄鋼・非鉄	56	39	50	11	28	56	27	57	16	11
	金属製品	25	32	60	8	24	24	25	67	8	17
	一般機械	58	24	62	14	10	58	28	59	13	15
	電気機械	69	26	55	19	7	69	19	59	22	△ 3
	輸送用機械	49	29	61	10	19	49	37	47	16	21
	精密機械	11	45	45	10	35	11	27	46	27	0
その他	42	21	53	26	△ 5	42	26	60	14	12	
計	567	28	56	16	12	565	24	58	18	6	
卸売業	生産財	35	29	34	37	△ 8	35	17	54	29	△ 12
	消費財	34	15	53	32	△ 17	34	18	53	29	△ 11
	計	69	22	43	35	△ 13	69	17	54	29	△ 12
合計	636	27	55	18	9	634	24	58	18	6	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 7～9月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関においてプラスとなった。前期（4～6月）実績との比較では、総じて小幅の変化で推移した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しについては、すべての機関において、小幅ながら引き続きプラスとなる。一般トラックおよび特別積合せトラックで『動向指数』が1ポイント上昇し、内航コンテナで1ポイント低下する一方、それ以外の機関では横ばいで推移する見通しであり、運賃・料金水準の大幅な変動は見込まれない。

運賃・料金の実績と見通し



(1) 一般トラック運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石、パルプ・紙など9業種がプラス、化学・プラスチックおよび精密機械がゼロ水準で、繊維・衣服、その他の製造業など4業種がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス3で、前期(4～6月)実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがマイナスに沈み、食料品・飲料および金属製品がゼロ水準まで落ち込む一方、輸送用機械およびその他の製造業がプラスに浮上する。業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移し、この結果、運賃水準の上昇が続く見通しである。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	82	5	93	2	3	80	4	92	4	0
	繊維・衣服	41	0	98	2	△2	41	2	93	5	△3
	木材・家具	37	11	86	3	8	37	11	86	3	8
	パルプ・紙	44	14	86	0	14	44	14	86	0	14
	化学・プラスチック	108	4	92	4	0	109	2	93	5	△3
	窯業・土石	38	18	79	3	15	38	18	77	5	13
	鉄鋼・非鉄	100	10	85	5	5	99	11	84	5	6
	金属製品	47	6	90	4	2	47	4	92	4	0
	一般機械	89	8	92	0	8	88	10	90	0	10
	電気機械	109	2	95	3	△1	109	3	91	6	△3
	輸送用機械	80	4	91	5	△1	80	8	90	2	6
	精密機械	14	7	86	7	0	14	7	86	7	0
	その他	53	2	94	4	△2	53	6	91	3	3
計	842	6	91	3	3	839	7	89	4	3	
卸売業	生産財	50	6	94	0	6	50	2	98	0	2
	消費財	44	7	91	2	5	44	5	95	0	5
	計	94	6	93	1	5	94	3	97	0	3
合計	936	6	91	3	3	933	7	90	3	4	

(2) 特別積合せトラック運賃

- 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、その他の製造業、一般機械など8業種がプラス、化学・プラスチックなど4業種がゼロ水準で、繊維・衣服、木材・家具、精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。
- 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがマイナスに沈み、輸送用機械および生産財卸がゼロ水準まで下降する一方、窯業・土石、金属製品、電気機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は強含み横ばいで推移する見通しで、運賃水準は緩やかな上昇基調が続くものとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業 種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	48	6	90	4	2	46	9	87	4	5
	繊維・衣服	39	5	87	8	△3	39	3	87	10	△7
	木材・家具	23	4	87	9	△5	23	0	91	9	△9
	パルプ・紙	27	4	96	0	4	27	11	89	0	11
	化学・プラスチック	90	3	94	3	0	90	1	95	4	△3
	窯業・土石	25	4	92	4	0	25	12	84	4	8
	鉄鋼・非鉄	60	5	92	3	2	59	7	90	3	4
	金属製品	36	3	94	3	0	36	6	92	2	4
	一般機械	74	4	96	0	4	74	4	96	0	4
	電気機械	90	4	92	4	0	90	6	90	4	2
	輸送用機械	54	4	94	2	2	54	2	96	2	0
精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14	
その他	38	8	89	3	5	38	11	87	2	9	
計	611	4	93	3	1	608	5	91	4	1	
卸 売 業	生産財	38	5	92	3	2	37	3	94	3	0
	消費財	30	3	97	0	3	30	3	97	0	3
	計	68	4	95	1	3	67	3	96	1	2
合計	679	4	93	3	1	675	5	92	3	2	

(3) 鉄道コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、生産財卸など6業種がプラス、食料品・飲料など7業種がゼロ水準で、化学・プラスチックおよび精密機械がマイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは3ポイント上昇した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、パルプ・紙がプラスに浮上し、生産財卸のプラス幅が拡大する一方、電気機械がゼロ水準に落ち込む以外に動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』も横ばいでの推移が見込まれる。この結果、運賃水準は概ね現状維持が続く見通しである。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	37	0	100	0	0	38	0	100	0	0
	繊維・衣服	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
	木材・家具	16	12	88	0	12	16	12	88	0	12
	パルプ・紙	29	0	100	0	0	29	3	97	0	3
	化学・プラスチック	77	0	99	1	△1	76	0	99	1	△1
	窯業・土石	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	38	0	100	0	0	38	0	100	0	0
	金属製品	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
	一般機械	35	6	94	0	6	35	6	94	0	6
	電気機械	36	3	97	0	3	36	0	100	0	0
	輸送用機械	25	8	92	0	8	25	8	92	0	8
	精密機械	5	0	80	20	△20	5	0	80	20	△20
	その他	24	4	96	0	4	24	4	96	0	4
計	364	2	97	1	1	364	2	97	1	1	
卸 売 業	生産財	11	9	91	0	9	11	18	82	0	18
	消費財	14	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	計	25	4	96	0	4	25	8	92	0	8
合計	389	2	97	1	1	389	2	97	1	1	

(4) 内航コンテナ運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、窯業・土石、生産財卸など9業種がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、金属製品および精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス7で、前期（4～6月）実績からは2ポイントの低下がみられた。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、窯業・土石などのプラス幅が縮小する以外はほとんど動きがみられず、業種全体の『運賃動向指数』はプラス6と弱含み横ばいで推移しよう。この結果、運賃水準の上昇が続くものの、増勢は若干弱まる見通しである。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業 種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
	繊維・衣服	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	木材・家具	10	10	90	0	10	10	10	90	0	10
	パルプ・紙	15	13	87	0	13	15	13	87	0	13
	化学・プラスチック	46	9	91	0	9	46	9	89	2	7
	窯業・土石	10	30	70	0	30	10	20	70	10	10
	鉄鋼・非鉄	22	9	91	0	9	22	9	91	0	9
	金属製品	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
	一般機械	34	9	91	0	9	34	9	91	0	9
	電気機械	25	8	92	0	8	25	8	88	4	4
	輸送用機械	17	0	100	0	0	17	0	100	0	0
	精密機械	3	0	67	33	△33	3	0	67	33	△33
	その他	18	6	88	6	0	18	6	88	6	0
計	236	8	91	1	7	236	8	90	2	6	
卸 売 業	生産財	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	消費財	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	計	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
合計	249	8	91	1	7	249	8	90	2	6	

(5) 国内航空運賃

■ 7～9月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、生産財卸など5業種がプラス、食料品・飲料など8業種がゼロ水準で、化学・プラスチックおよび精密機械がマイナスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス2で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『運賃動向指数』見通しでは、生産財卸がゼロ水準に下降し、電気機械のプラス幅が縮小する以外に動きはみられず、業種全体の『運賃動向指数』は横ばいで推移しよう。このため、運賃水準は緩やかな上昇基調が続く見通しである。

国内航空運賃の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	19	0	100	0	0	19	0	100	0	0	
繊維・衣服	11	0	100	0	0	11	0	100	0	0	
木材・家具	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14	
パルプ・紙	5	0	100	0	0	5	0	100	0	0	
化学・プラスチック	30	0	97	3	△3	30	0	97	3	△3	
製造業	窯業・土石	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
	鉄鋼・非鉄	23	0	100	0	0	23	0	100	0	0
	金属製品	15	0	100	0	0	14	0	100	0	0
	一般機械	46	7	93	0	7	46	7	93	0	7
	電気機械	52	6	92	2	4	52	6	90	4	2
	輸送用機械	23	4	96	0	4	23	4	96	0	4
	精密機械	7	0	86	14	△14	7	0	86	14	△14
その他	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0	
計	265	3	96	1	2	264	3	95	2	1	
卸売業	生産財	9	11	89	0	11	9	0	100	0	0
	消費財	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	計	17	6	94	0	6	17	0	100	0	0
合計	282	3	96	1	2	281	3	96	1	2	

(6) 営業倉庫保管料金

■ 7～9月実績（見込み）の『料金動向指数』は、精密機械、電気機械など4業種がマイナス、輸送用機械がゼロ水準で、残り10業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス1で、前期（4～6月）実績からは2ポイント上昇し、2008年10～12月以来のプラス水準に浮上した。

■ 10～12月の『料金動向指数』見通しでは、輸送用機械がプラスに、また生産財卸がゼロ水準まで浮上する一方、繊維・衣服などがゼロ水準まで下降する以外は大きな動きがみられない。この結果、業種全体の『料金動向指数』は横ばいで推移し、料金水準は概ね現状維持が続く見通しである。

営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し					
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製 造 業	食料品・飲料	44	2	98	0	2	44	2	98	0	2
	繊維・衣服	16	6	94	0	6	16	6	88	6	0
	木材・家具	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	パルプ・紙	33	3	97	0	3	33	6	94	0	6
	化学・プラスチック	83	2	94	4	△2	82	4	91	5	△1
	窯業・土石	19	11	89	0	11	19	11	89	0	11
	鉄鋼・非鉄	50	2	98	0	2	50	2	98	0	2
	金属製品	20	10	90	0	10	20	10	90	0	10
	一般機械	53	2	98	0	2	53	6	94	0	6
	電気機械	63	2	92	6	△4	63	0	94	6	△6
	輸送用機械	46	4	92	4	0	46	7	89	4	3
	精密機械	11	0	91	9	△9	11	0	91	9	△9
その他	39	5	92	3	2	39	3	94	3	0	
計	490	3	95	2	1	489	4	93	3	1	
卸 売 業	生産財	33	0	97	3	△3	32	3	94	3	0
	消費財	24	4	96	0	4	24	4	92	4	0
	計	57	2	96	2	0	56	4	92	4	0
合計	547	3	95	2	1	545	4	93	3	1	

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、7～9月実績（見込み）の『動向指数』は、繊維・衣服および消費財卸がマイナスで、残り13業種がプラスを示した。業種全体の『動向指数』はプラス10で、前期（4～6月）実績からは強含み横ばいで推移した。

■ 10～12月の『動向指数』見通しでは、繊維・衣服がプラスに浮上する一方、精密機械がマイナスに沈み、木材・家具、生産財卸などでプラス幅が縮小する。業種全体の『動向指数』はプラス9と弱含み横ばいで推移し、この結果、物流コスト割合は上昇が続く見通しである。

物流コスト割合の実績と見通し

業 種	2011年7月～9月実績					2011年10月～12月見通し				
	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答社数	構成比(%)			動 向 指 数
		上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
食 料 品 ・ 飲 料	82	24	64	12	12	81	22	67	11	11
繊 維 ・ 衣 服	48	21	56	23	△ 2	49	16	70	14	2
木 材 ・ 家 具	37	24	73	3	21	37	16	79	5	11
パ ル プ ・ 紙	45	24	76	0	24	45	27	71	2	25
化学・プラスチック	112	14	78	8	6	112	15	74	11	4
窯 業 ・ 土 石	39	26	64	10	16	39	26	69	5	21
鉄 鋼 ・ 非 鉄	104	13	78	9	4	104	14	80	6	8
金 属 製 品	51	27	57	16	11	50	22	62	16	6
一 般 機 械	91	24	67	9	15	91	25	64	11	14
電 気 機 械	122	25	57	18	7	122	25	57	18	7
輸 送 用 機 械	83	23	63	14	9	83	22	64	14	8
精 密 機 械	17	18	76	6	12	17	17	59	24	△ 7
そ の 他	56	23	63	14	9	56	21	68	11	10
計	887	22	67	11	11	886	21	68	11	10
卸 売 業										
生 産 財	56	21	70	9	12	56	16	70	14	2
消 費 財	50	4	86	10	△ 6	50	8	80	12	△ 4
計	106	13	78	9	4	106	12	75	13	△ 1
合 計	993	21	68	11	10	992	20	69	11	9